

La ライフ Life

第2～5日曜日に九州・山口の生活情報をお届けします。
過去記事や動画はオンライン九州発の企画・連載で。
〒810-8581 読売新聞西部本社社会部地域・生活課
ファクス：092-715-5674、メール：s-townlife@yomiuri.com



若い頃のおしゃれな着や思い入れのある服は、なかなか処分できない。クローゼットからあふれてしまい、困っている人も多いだろう。

「『着る』『着ない』に分けて整理しよう」と呼びかけるのは、福岡市の整理収納アドバイザー米倉薫さん(48)だ。「いらぬ」「いらぬ」を基準にする、また使える服や高額で買った服は手放しにくい」といふ。

着るか着ないかは、数秒程度で判断する。迷うのは「もったいない」と思うからで、「着ないことがもったいない」と考えれば、スムーズに判断できる。

知りたい

服を着る着ないで選別

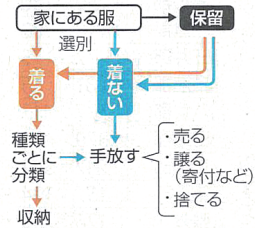
思い出整理



服の整理のポイント
を説明する米倉さん

「着ない」としたものは、手放す方法を選ぶ。ゴミに出すこと

服の整理の流れ



年齢を重ねると体形も似合う服も変化するので、実際に着てみるのがわかりやすい。

「着る」に分類した服は、Tシャツやズボンなど種類別に分けてから収納する。いいぞうだ。所有する枚数が把握できて在庫管理がしやすくなり、必要な服の購入を防ぐことにもつながる。

寄付などで役立てる方法もある。古着を必要な人に提供する団体や地域の資源回収のほか、

古着を回収してリサイクルする衣料メーカーなども増えている。米倉さんがすすめるのは「古着ドレッシング」(https://furgidevacaine.etsl.jp/)。回収キット(有料)に古着を入れて送ると、塗上国の子どもにワクチン接種を寄付できる仕組みだ。

「着る」「着ない」を判断できない場合、ひとまず「保留」してケースに入れておき、一定期間をおいて改めて判断する。また、「やせたら着たい」という服があるなら、まとめて保管しておけばダイエットの励みになりそうだ。

衣替えは、服の整理にぴったり。米倉さんは「家の中がすっきりするだけでなく、着たい服だけに囲まれると幸せな気持ちになれますよ」と話す。

知りたい] 思い出整理<中>



服を着る着ないで選別



服の整理のポイント
を説明する米倉さん

若い頃のおしゃれな着や思い入れのある服は、なかなか処分できない。クローゼットからあふれてしまい、困っている人も多いだろう。服の整理のポイントを説明する米倉さん

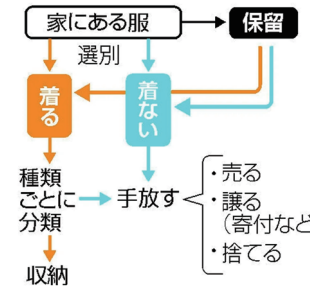
「『着る』『着ない』に分けて整理しよう」と呼びかけるのは、福岡市の整理収納アドバイザー米倉薫さんだ。「いる」「いない」を基準にすると、まだ使える服や高額で買った服は手放しにくくなるという。

着るか着ないかは、数秒程度で判断する。迷うのは「もったいない」と思うからで、「着ないことがもったいない」と考えれば、スムーズに判断できる。年齢を重ねると体形も似合う服も変化するので、実際に着てみるとわかりやすい。

「着る」に分類した服は、Tシャツやズボンなど種類別に分けてから収納する。いいぞうだ。所有する枚数が把握できて在庫管理がしやすくなり、必要な服の購入を防ぐことにもつながる。

「着ない」としたものは、手放す方法を選ぶ。ゴミに出すことに抵抗がある場合、リサイクル店やフリマアプリなどで売ってもいい。ただし、思ったほどの額にならざるがっかりすることもあるので、期待しすぎないようにしよう。

服の整理の流れ



寄付などで役立てる方法もある。古着を必要な人に提供する団体や、地域の資源回収のほか、古着を回収してリサイクルする衣料メーカーなども増えている。米倉さんがすすめるのは「古着ドレッシング」(https://furgidevacaine.etsl.jp/)。回収キット(有料)に古着を入れて送ると、塗上国の子どもにワクチン接種を寄付できる仕組みだ。

どうしても「着る」「着ない」を判断できない場合、ひとまず「保留」してケースに入れておき、一定期間をおいて改めて判断する。また、「やせたら着たい」という服があるなら、まとめて保管しておけばダイエットの励みになりそうだ。

衣替えは、服の整理にぴったり。米倉さんは「家の中がすっきりするだけでなく、着たい服だけに囲まれると幸せな気持ちになれますよ」と話す。

米倉さんのホームページ「RISOLA」

毎週2～5日曜日に読売新聞くらし面(西部本社版)「ララ ライフ」で九州・山口の生活情報をお届けしています。

〒810-8581 読売新聞西部本社社会部地域・生活課
ファクス：092-715-5674、メール：s-townlife@yomiuri.com